

第3号



こうみょうだより

発行：社会福祉法人多摩養育園
編集：光明保育園 園長会

題字：園児

令和2年5月15日発行



もくじ

- 学びの芽生え 「健康な心と身体」
- 食育 「好きなもの、嫌いなもの」
- 和のこころ 「履物をそろえる」
- 地域の大きな家 「地域にささえられて」



「現在の5歳児の運動能力は25年前の3歳児とほぼ同じ」といわれているそうです。確かに、保育の現場でも転んだ時に手が出ない、何もなくて転ぶなど、体をうまくコントロールできていないのかな？と感じるような場面も時々あります。保育園は、小さいうちから体を動かす楽しさを味わう絶好の場所！遊びは子どもの中にある様々な力を育て、心と身体の栄養に！夢中になって遊ぶ子どもの姿にフォーカスをあて、どんな学びや育ちがあるのか覗いてみましょう。

どうしたら上手く跳べるかな？

大縄でダブルダッチに挑戦していた子ども達。始めは、「そっち持って、私こっちを持つから。」と、子ども達同士で大縄をまわしていました。ところが、うまく回りません。「あれ？上手く回せないね。どうする？」さあ、子ども達はその後どうしていくのでしょうか・・・。

上手く回せず色々試してみるのが...



「あっ！先生にやってもらおうよ。」と担任を呼ぶ子ども達。

あれ...？やはり上手くいきません。



保育者が「高さが合わないのかな」と、そっと一言。

「じゃあ、もう一人も先生にやってもらおうよ」



2人の保育者で回してみると...大成功！

「すごいね、先生。縄が上まで上がったから跳べたね。」



保育者のまなざし

始めから、保育者に全てを任せるのではなく、どのようにしたら、やりたいことが出来るのかを考えていた子ども達。新たな事に挑戦しようとする気持ちが子どもたちを動かしていたようだ。自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたり。体を十分に動かし、跳ぶための思考力の芽生えが見られた瞬間だった。

楽しさを共有 得意なこと、苦手なこと、好きなこと、みんな一人一人違いますが、大好きな友達がやっていることだから挑戦してみた！友達と一緒にやってみたら楽しかった！など、子ども同士の関わりから経験の幅が広がります。

段ボールを片付けようとした保育者に、「先生、それかして」と、3歳児の男児3名。「中に入れてみよう」と一人の子が提案。



今度は段ボールを横にしてみよう！寝転んだり、前に押し進んだり、さらに遊びを発展させ楽しむ子ども達。



園庭で大好きなままごとをして遊ぶ2歳児。「木の实が欲しい」となり、いつものようにAちゃんが木に登り、木の实を取りに行くと・・・



やっと入れた！3人で同時に入ろうとするとバランスが取れず悪戦苦闘。やっと入れたけれど、3人ではちょっと窮屈？

今まで木登りをしたことがなかったBちゃん。「私も登りたい、代わって」と挑戦。恐る恐る、慎重に。でも友達が登る姿はいつも見ていたので、登り方は知っています。

保育者のまなざし

友達のことが大好きで、だからこそ、同じように登ってみたい、同じ遊びを共有・共感したいという思いが行動に出たのだろう。体力、体の動かし方、子どもたちの力が着実についていることを感じた瞬間だった。



心と身体をつくる楽しい食育



子どもには好き嫌いせず、なんでも食べて欲しい、そう願うのが親心ですよ。保育園でも同じです。美味しく、楽しく、色々な食材を食べられるようになってほしい！でも無理強いには禁物。保育参加などで保護者からよく聞かれる声は、「家ではこんなに野菜を食べないのに、保育園ではよく食べているんですね」など、家庭と保育園との違い。嫌いなものが、好きなものになる瞬間、美味しく楽しく食べるための取組、ここには色々な物語があります。

「ぼく、野菜嫌いなんだ・・・」

「嫌いだったら食べなくてもいいんだよ」「うん、だからちょっとにして」と3歳児男児。それを見ていた別の子は「あのね、この前少し食べたら美味しかったから今日はいっぱい食べる！大盛りにしてください！」とお当番さんに。



どっちにする？
小さいほうがいい。

これ美味しかったから大盛りにしてくださいー！



ぼく、大きくなったんだもん！進級がきっかけで食べられるようになった子も。

「嫌いだったら食べなくてもいいんだよ」

その言葉がこの子にとって安心材料になったようです。こうみょうだより1号でもご紹介した通り、光明保育園では、セミバイキング方式を取り入れています。自分で食べきれぬ量を伝えて伝える。お腹ペコペコだから大盛り！これは苦手だからちょっとにして、などなど。食べられないものを「食べない」という選択をするのも子どもの権利です。大人が決めた量を食べるのではなく、苦手なものはほんの少しでもいいという安心感から、食べられる量が増えている子も多いのです。

どんなことも経験が大事！

給食で使う食材を、子ども達が洗ったり、ちぎったり。今日は白菜ちぎり。白菜の大きさに驚いたのか、最初は「僕やらないよ」とH君。でも、友だちの姿を見て「やってみようかな・・・」。そして楽しさを実感。「今日の胡麻和えに入れるからね」と聞くと、「本当に？」と期待感いっぱい。「ちょっとだけ食べる」と野菜が苦手なH君も食べられたのでした。



白菜ってこんなにおおきいの？

調理員のサプライズ！

子ども達の大好きな絵本「サンドイッチ電車」。それを知った調理員、「本物のサンドイッチ電車を作ろう！」とサプライズ。



「おいしくなあ〜れ」



絵本に出てくる材料と同じ食材を前に大興奮！世界に一つだけのサンドイッチが完成。友達同士で見せ合ったり、野菜の苦手だった子も嬉しそうに食べたりと楽しいランチタイムになりました。



